

放送ストリーミング情報収載

放送ストリーミング情報【2025No.381】（HP 収載）

分類：ネットストリーミング

局等：Digital Concert Hall

作曲家：ジャン・クラ

曲名：フルート、ハープ、弦楽三重奏のための五重奏曲

演奏：ベルリンフィル団員

関連サイト：<https://www.digitalconcerthall.com/ja/concert/55783>

2025 年 7 月 27 日ベルリンフィル小ホールにおける演奏です。



フルートとハープに焦点を当てたこの室内楽コンサート。ベルリンフィルの首席フルート奏者、エマニュエル・パユと、首席ハープ奏者マリー＝ピエール・ラングラメが舞台に登場します。プログラムには、優美で洗練され、名人芸に富んだフランス音楽の数々が並びます。ベルリンフィルの第1ソロ・チェロ奏者ブリュノ・ドルブレールが作曲した《フランスの回想》のほか、コンポーザー・イン・レジデンスのヴォルフガング・リームによる緻密な雰囲気のある七重奏曲《En plein air》にも注目です。

演奏された曲と演奏者は次のとおりです。

ジャン・クラ フルート、ハープ、弦楽三重奏のための五重奏曲

エマニュエル・パユ(フルート)

マリー＝ピエール・ラングラメ(ハープ)

シモン・ロトゥリエル(ヴァイオリン)

イグナツィ・ミエチニコフスキ(ヴィオラ)

ブリュノ・ドルブレール(チェロ)

ブリュノ・ドルブレール フルートとハープのための《フランスの回想》(初演)

エマニュエル・パユ(フルート)

マリー＝ピエール・ラングラメ(ハープ)

リリ・ブーランジェ フルートとハープのためのノクターン

エマニュエル・パユ(フルート)

マリー＝ピエール・ラングラメ(ハーブ)

ヴォルフガング・リーム

フルート、クラリネット、ハーブ、弦楽四重奏のための《En plein air》

シュテファン・コンツ(指揮)

エマニュエル・パユ(フルート)

ヴェンツェル・フックス(クラリネット)

マリー＝ピエール・ラングラメ(ハーブ)

シモン・ロトゥリエル(ヴァイオリン)

アンジェロ・デ・レオ(ヴァイオリン)

イグナツィ・ミエチニコフスキ(ヴィオラ)

ブリュノ・ドルプレール(チェロ)

クロード・ドビュッシー 弦楽四重奏曲ト短調

シモン・ロトゥリエル(ヴァイオリン)

アンジェロ・デ・レオ(ヴァイオリン)

イグナツィ・ミエチニコフスキ(ヴィオラ)

ブリュノ・ドルプレール(チェロ)

クロード・ドビュッシー

クラリネットと管弦楽のための第1狂詩曲 (シルヴァン・ブラッセル編)

ヴェンツェル・フックス(クラリネット)

エマニュエル・パユ(フルート)

マリー＝ピエール・ラングラメ(ハーブ)

シモン・ロトゥリエル(ヴァイオリン)

アンジェロ・デ・レオ(ヴァイオリン)

イグナツィ・ミエチニコフスキ(ヴィオラ)

ブリュノ・ドルプレール(チェロ)

以上の曲はいずれもフランスの作曲家の室内楽で聴く機会の少ないもので、ドビュッシーの弦楽四重奏曲ト短調以外は、フルートとハーブが活躍する曲です。

クラのフルート、ハーブ、弦楽三重奏のための五重奏曲は、フルートとハーブが、ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロの弦楽トリオと対話します。

ドルプレールのフルートとハーブのための《フランスの回想》とブーランジェのフルートとハーブのためのノクターンは、フルートとハーブのデュオで、フルートのパヒュとハーブのラングラメの名手のコンビの柔らかい響きが聴けます。

リームのフルート、クラリネット、ハーブ、弦楽四重奏のための《En plein air》は、現代曲のようです。

ドビュッシーの弦楽四重奏曲ト短調は、緊張感ある表情としみじみとした表情で構成

された曲です。

ドビュッシーのクラリネットと管弦楽のための第1狂詩曲は、クラリネットとフルートとハープと弦楽四重奏という珍しい構成の曲で、クラリネットが主役を務めます。受信経路に LAN iPurifier Pro が加わり、聴く機会の少ないフランスの作曲家の室内楽のエスプリの効いた演奏が聴けました。





以上